

11月12日、当館において、「第317回海外邦人安全対策協議会」を開催したところ、概要につき以下のとおり報告する。

1. 最近の政治・治安情勢及び一般事情

(安東総括公使)

大統領就任式が10月20日に行われ、新政権発足後も汚職撲滅委員会（KPK）に関する法律の改正に関してデモが行われた。現在、KPKを監督する委員会が発足することで、12月に当該委員会の人事が大統領により決定されることとなるが、この委員会の人選が特に焦点となる。KPKの機能が骨抜きになるか、学生側は注視していると思われる。この他、国会会期中の刑法の見直しや審議日程も論点であり、これら課題の取り扱いによっては、今後学生デモが再発する可能性がある。

(竹田書記官)

パプア情勢については、8月中旬にパプア及び西パプア各地で死傷者が出る暴動があった。また、9月にはワメナで30名亡くなる暴動が発生し、10月の会議では情勢が落ち着いたと判断するには時期尚早と述べたが、現在は若干の落ち着きを見せている。また、12月1日に自由パプア運動の記念日となり、独立運動の機運が高まることも予想される。企業の方々におかれては、安全を確保しながらビジネスを行って頂きたい。

(安東総括公使)

パプア情勢については、重要案件と位置づけている、先の大戦で亡くなられた方々の遺骨収集事業の再開の観点から大使館としても関心をもってフォローしている。また、パプアへの渡航を検討されるの方々においては、当館及び地域を管轄している在マカッサル事務所へも情報を共有頂きたい。

2. 邦人に関わる最近の事件・事故報告等（佐藤書記官）

邦人に関わる事件及び事故の報告は特にないが、12月1日にパプア独立運動及び12月20日にイスラム擁護戦線（FPI）の集会が予定されているため、安全確認には注意をして頂きたい。また、ISILのバグダディ指導者が死亡し、ネット上で情報が出回っている。具体的には、何も起きていないが、こうした状況下にあることはご留意いただきたい。

3. 質疑応答、各社（団体）からの報告等

(1) 団体からの報告

腹痛があったため、当地病院へ入院をしたが、検査結果も不鮮明のため、再度検査を申し出たところ虫垂炎と判明。即手術と言われたものの手術内容を確認した上で判断して、日本での手術を申し出て一時帰国した。当地病院のレントゲン写真などをデータで持参したが、画像の精度が低く日本の医療機関で活用されなかった。当地での医療レベルは発展段階にあると感じた。

(岡本医務官の回答)

当地では、医療機器や薬品全般に関しては質の高いものであると承知しているが、それらを使用する医師・看護師に課題が残るケースがある。当地では、常勤の研修医が処置することは出来ず、主治医や上級医がいくつもの病院を掛け持ちしていることもあるため、処置に関する明確な指示が直ぐに出せないこともある。

(企業からの報告)

仕事の関係から、医師との接点が多いが、診療科によって病院のレベルが異なるため、入院・手術といったケースでは慎重に病院を選択して欲しい。例えば、Siloam 病院であっても診療科によっては十分な対応が期待できないこともある。本年 7 月に虫垂炎になった当社駐在員のケースでは、虫垂炎ならば Pondok Indah 病院の評価が高く、同病院で手術をした。

(2) 企業からの報告

ジャカルターブカシ間の高速道路において、車上荒らしが頻発している。見晴らしの悪いサービスエリアで起こる傾向があり、昨年は1日1件以上が一つのサービスエリアにて確認された。ドライバーを有している方々であっても、サービスエリアなどに立ち寄る際は貴重品を必ず持って行くように心がけて頂きたい。

4. 次回の公共政策調査会に関する連絡

(今井領事部長)

来月は12月10日(火)14:00から「公益財団法人公共政策調査会」を開催する。場所は、グラントハイアット・ジャカルタを予定している。

(竹田書記官)

同財団理事長は元警察庁長官であり、様々な専門家を集めて世界各地でセミナーを行っているため、幅広い方々の意見を聞く場として、是非ご活用頂きたい。現在、100人くらいの参加者を見込んでおり、参加登録に関しては別途連絡をさせて頂く。

以上